



安岡定子氏



安岡正篤氏のお孫さん。二松学舎大学中国文学科卒。東京都文京区で開催している「文の京(ふみのみやこ)こども論語塾」講師。心の教育がさげられる現在、親子が一緒にの時間をともにして、論語を素読する塾を主催。

『論語』の分かりやすい20章を選び、総ふりがな・総力ラーで、「子ども用解説」を付けました。“素読”(声に出して読む)するうちに、お子さんはすぐに覚えてしまい、自然と思いやりのあるお子さんになっていきます。

大好評『こども論語塾』待望の続編がいよいよ登場！本書では、思いやりの気持ちを一歩深めた、〈親孝行〉や〈友達関係〉〈豊かな心の育て方〉などのテーマも取り上げました。第1集と同様、短くわかりやすい20章に、わかりやすい「子ども用解説」が付いています。お子さん・お孫さんと一緒に、ぜひ大きな声で読んでみて下さい。お祝い・プレゼントに最適！

～安岡定子氏からのメッセージ～

『こども論語塾 その2』では、『論語』の中から新たに20章を選びました。今回も名文ばかりです。まず大きな声で素読してみてください。親子で、おじい様・おばあ様とお孫さんと、あるいは兄弟姉妹で。漢文独特の美しいリズムが、体や心の奥まで響くでしょう。声を出して読むことの心地よさを感じられることでしょう。

『こども論語塾 その2』は前著に比べると、少し長めの文章も選びました。お子さんの身近にいる大人の方が、一緒に読んであげて下さい。解説文にも、お子さんの日常に即した言葉を添えてお話ししてあげて下さい。お子さんとの会話を通して、『論語』に親しみを感じて頂けたら嬉しく思います。

『論語』の言葉は、不思議な魅力に満ちています。たとえ短い一文であってもその奥には深く豊かな世界が広がっています。素読によって心に蓄積された名文は、気づかぬうちに大きな生きる力になっていくことでしょう。

それぞれのご家庭でお気に入りのページを広げながら、元気に素読し、皆さんで楽しいひとときを過ごして頂けたら、これ以上の幸せはありません。

今なぜお子様に『論語』か！

目には見えないもの。形のないもの言葉ではうまく説明できないもの。そんなものの中にこそ、大切なものがたくさんあります。思いやり、優しい気持ち、感動する心。あるいは悲しみや困難を乗り越える力など…。『論語』には、そのような大切なものを育む言葉が収められています。繰り返し読むことで、『論語』の持つ不思議な力が、心の奥深くに、静かに蓄積されていきます。それはやがて思いがけない形でふと現れて、その人の支えとなり助けとなるでしょう。

「素読」とは、声を出して元気に読み上げることです。意味は分からなくても構いません。繰り返し読んでいるうちに、心に染みこんでいき、その言葉の持つ魅力に気づいていきます。慌ただしい日々の中で、お子さんと一緒に古典の世界に浸る、ゆったりとしたひとときを持ってほしいと思います。

目に見える結果だけを求めるのではなく、急いで成果を求めるのでもなく。大人のほんの少しの心遣いと手間、お子さんは大きく変わります。

孔子先生が最も重んじたのは「仁」つまり「思いやりの心」です。「思いやりの心」とは、自分自身を大切に思い、それと同じくらい、他人のことを大切に思えるということです。2500年の時を経ても、人間にとって大事なことは変わりません。『論語』の言葉は、私たちが今まで忘れていたものを、思い出させてくれます。是非お子さんと一緒に、楽しんで下さい。